

湯河原町で活躍するボランティアを紹介するコーナー

こんにちは！金曜会です！



(写真は金曜会のみなさま)

金曜会は、月に1度金曜日に集まり、料理の勉強をしています。旬の食材を使い、調味料は極力使わないをモットーにこれまで創作したオリジナルレシピは数え切れないほどになりました。社協が開催している「いきいきサロン」では約50名分の昼食を作っています。いきいきサロンの参加者からは、「手作りで愛情たっぷりの食事がうれしい!」「いつもおひるごはんが楽しみなの」と大好評です。今回は特別にレシピをひとつ教えていただきましたのでご紹介します。

(城堀会館・活動風景)

フライドにんじん～カリッと揚げ上がりフライドポテトのようににんじんの甘さがぎゅっと凝縮、ジューシーな味わいに～



おつまみにも
おやつにも

材料 (4人分)

にんじん	2本
A [しょうゆ	大さじ 1.5
にんにく(すりおろし)	大さじ 1.5
レモン	1/2 個
小麦粉・片栗粉・揚げ油・塩	適量

作り方

- (1)にんじんはよく洗い、皮付きのまま長さを半分にして、縦に1cm角の棒状に切る。ポリ袋に入れて A を加え袋ごともんでよくからめる。
- (2)袋に小麦粉大さじ3.5を加え、さらによくもんで全体になじませたら、1本ずつ片栗粉適量をまぶす。
(のり状になった小麦粉でにんじんの水気をしっかりガード さらに片栗粉をまぶすことできりっと揚がる)
- (3)すべてのにんじんに片栗粉をまぶしてから揚げはじめる。
- (4)油を160度に熱し、ほぼすべてが浮いてくるまで5分間中火で揚げる。最後は強火にし1分~1分半かりっとするまで揚げ、油を切り、塩を適量ふる。

グリーンカーテンを実施しました！



窓を覆うように植物を育て、強い日差しを遮る「グリーンカーテン」夏の厳しい暑さをできるだけエネルギーを使わずに乗り切る手段のひとつとして全国各地で取り組みが広がっています。今年社協では、ゴーヤのカーテンに挑戦！とれたゴーヤはおすそわけしました。温暖化対策だけでなく、地域の方との交流もできました！



本誌に掲載の事業・行事・会員募集等に関するお問合せは

電話 62-3700
FAX 62-5150

社会福祉法人湯河原町社会福祉協議会

検索

社協ゆがわら

■発行 ■
社会福祉法人
湯河原町社会福祉協議会
平成29年12月1日

■編集 ■
広報担当委員会
湯河原町中央四丁目12番地5
Tel 0465-62-3700

2017
No.94



ほのぼのハイキング

11月2日(火) ほかほかの陽気に恵まれ、約5kmの散歩コースを歩きました。この日の参加者は60代から80代の85名 色づきはじめた紅葉とおしゃべりを楽しみながら、みなさん目的地まで無事に到着！秋を満喫する1日となりました。

写真撮影 小石川保氏

第29回社会福祉大会を開催しました

10/15
(日)



表彰

湯河原町民体育館において600名の方々にご来場をいただき、福祉功労者表彰、公演「中国伝統芸能」、お楽しみ抽選会、各協力団体の出店・バザー等で楽しんでいただきました。大会当日はあいにくの雨でしたが、たくさんのボランティア・団体の方々のご協力を得て無事に開催できました。ご来場くださいました町民のみなさま、ボランティア・団体の方々、ありがとうございました。



公演「中国伝統芸能 変面」



福祉くじ



出店



客席



福祉バザー

バザー品のご提供、ありがとうございました！
ボランティア連絡協議会（ボラ協）によるバザーの売上げは78,190円になりました。半分をボラ協の活動費に、半分は社会福祉基金へご寄付いただきました。また、湯河原はり・灸マッサージ師会によるクイックマッサージの収益金3,650円も社会福祉基金へご寄付いただきました。

写真撮影 小石川保氏

ふ れ あ い 球 技 会



7月28日(金) 町民体育館において「風船バレー大会」を開催しました。湯河原町ボランティア連絡協議会、たんぽぽ作業所、城山学園、湯河原中学校福祉サークル桜組の総勢97名が参加 混合8チームでトーナメント戦を行いました。点を取って喜んでいたら、実は違うチームのメンバーだったり、自分のコートにスパイクを決めるなどおもしろハプニングが続出!一緒に汗を流し、スポーツを通して親睦を深めました。

傾聴ボランティア養成講座



11月の第1週から第4週の毎週水曜日の4日間の日程で傾聴ボランティア養成講座を開催しました。今年で3回目となる本講座NPO法人シニアライフセラピー研究所の鈴木しげ先生を講師に迎え、19名が受講しました。この講座は湯河原町ボランティア連絡協議会が主管し、傾聴ボランティア湯河原の協力で開催しています。前年度の受講生が、今年は傾聴ボランティア湯河原の一員として、講座に携わってくださっていて「毎週町内の施設に訪問して活動しているんですよ」とお話されていたのはとても嬉しくまた頼もしく感じました。初日は緊張気味の受講生でしたが、グループワークを重ねるごとに打ち解けていきました。受講生の今後の活躍を期待しています!

心身障がい児者のつどい



8月18日(金) 親睦と家族慰安、激励を目的に「心身障がい児者のつどい」を開催しました。今年度は、静岡県の『富士サファリパーク』に参加者53名、バス2台で行きました。ライオンやアムールトラ、フタコブラクタなどが悠々と歩いたり、くつろぐ姿をバスの車内から間近に見学しました。特に「水中のゾウ」という夏季イベントで、専用プールで豪快に泳ぐアジアゾウの姿が見られると車内に歓声があがりました。

祝

卒寿をお迎えのみなさま
心よりお祝い申し上げます



今年度は88名の方々にささやかなお祝い金を贈りました。
お話を伺ったのは今年1月1日に90歳を迎えた、足立さん
■長生きの秘訣は?「若いときも年を取っても無理をしないこと。健康が一番!運動は苦手だけど、歩くのが好きで毎日歩いている。49歳のときに当時住んでいた鎌倉で“鎌倉を歩く会”を発足し35年で解散しましたが、いまだ有志で年に4、5回は歩いています。」
■今年の抱負は?「卒寿の意味は人生からの卒業。残りの人生は儲けもん!これからは人生の残務整理と”鎌倉を歩く会”的活動を続けていく」とバイタリティ溢れる足立さんこちらまで元気がもらいました!

みなさまいつまでもお元気でお過ごしください!



平成29年度 赤い羽根共同募金の街頭募金を行いました！

募金期間 10月1日～12月31日



10月2日(月)、20日(金)の2日間、湯河原駅前とマックスバリュ前で街頭募金を行いました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。2日間で集まった募金は50,903円となりました。赤い羽根共同募金の募金期間は12月31日までです。次号4月1日発行の広報紙でご報告をいたします。

赤い羽根共同募金の使い道は？

平成28年度は下記の事業に使われました。

視覚障がい者のつどい、要・準要保護世帯の夏季慰問金と入進学激励金、災害見舞金、卒寿者敬老祝金、社会福祉大会、たんぽぽ作業所の福祉車両購入、ゆがわらホームヘルプ事業費



共同募金の寄付金には税制上の優遇措置があります。

法人の場合・・・全額損金に算入されます。

個人の場合・・・2,000円を超える額が寄付金控除の対象となります。

平成29年度 賛助会員の皆さまをご紹介します

平成29年7月1日～平成29年10月31日

グレースタウン自治会
松柏会
湯河原燃料企業組合
アートたかはし(有)
(株)ちばり

湯河原ライオンズクラブ
ネパール教育支援の会
湯河原事務所
匿名 1件

敬称略・受付順

心温まるご寄付ありがとうございました

平成29年7月1日～平成29年10月31日

敬称略

●社会福祉基金●

宮上婦人会	5,000円
湯河原はり・灸マッサージ師会	3,650円
湯河原町ボランティア連絡協議会	39,095円
湯河原町消防団	51,500円
吉浜中学昭和31年卒業喜寿同期会	26,427円
匿名 1件	10,000円

●一般寄付金●

ガールスカウト神奈川県連盟第9団	4,670円
匿名 3件	13,000円

●寄付品●

JJA神奈川西湘女性部	
JJAかながわ西湘助け合い組織すみれ会	タオル・布切れ等

心配ごと行政相談室

毎月 10日 宮下会館
20日 文化福祉会館(吉浜)
午後1時～4時 予約不要

行政相談委員や人権擁護委員、民生委員児童委員が家庭内のもめごとや心配ごと、身の回りのことなど何でも相談をお受けしています。行政に関すること（年金や道路、役所の窓口対応）もお受けしています。

お気軽にご相談ください

こんな相談を受け付けています！



◆苦情や意見・要望を無料で、
秘密を厳守してお聴きしています

シルバー作品展を開催します！

日 時 平成30年2月21日(水)～23日(金)
午前9時30分から午後4時30分
(最終日は午前11時30分まで)



場 所 湯河原町立図書館 3階 集会室

作品種類 書道・写真・絵画・彫刻・手芸・盆栽 他

出品資格 町内在住の60歳以上の方

出品申込 湯河原町社協または各老人クラブ（10地区）が窓口になります。
1月19日(金)までにお申込みください。

入場無料です。みなさま お気軽に立ち止まください！

救急医療情報キットを無料配付しています！

■医療情報キットとは■

医療情報キットとは、自分の氏名、年齢、緊急連絡先、かかりつけ医、持病や服薬内容などの情報を専用の容器(筒)に入れ、どの家庭にもあり、火災に強く、地震で家屋が倒壊してもつぶれにくい冷蔵庫に入れて保管しておくことで緊急時に活かすもので、病気や怪我で倒れた場合、救急隊員や第一発見者などが、冷蔵庫の中から筒を取り出し、中の情報を見ることで身元や日頃の身体の状態などがすぐにわかり迅速的確に救護ができる、身内など関係者にもすぐに連絡できます。また搬送先の医療機関でも、医療行為の参考や家族等との連絡に役立てることができます。

■対象者■

- 町内在住で、65歳以上の高齢者のみの世帯
- 町内在住で、障がいのある方がいる世帯

